



MARKET NAVIGATOR / 2026年5月20日

今朝の結論：インフレ再燃と「高金利の長期化」が市場を支配

米国物価指標の高止まりがもたらす連鎖と、今日の日本市場で取るべき具体策。

STEP 01: トリガー

米国の物価指標
(CPI・PPI) の高止まり

STEP 02: 市場の反応

- 「利下げ開始の遅れ」に対する強い警戒感。

米国30年債利回りが約19年ぶりの高水準へ急騰。

STEP 03: 株価への影響



相場を牽引してきたハイテク株を中心に「利益確定売り」が加速。

米国市場（5月19日終値） - 主要3指数が揃って反落



NYダウ
49,363.88ドル
(-322.24 / -0.65%)



S&P 500
7,353.61
(-49.44 / -0.67%)



NASDAQ
25,870.71
(-220.02 / -0.84%)

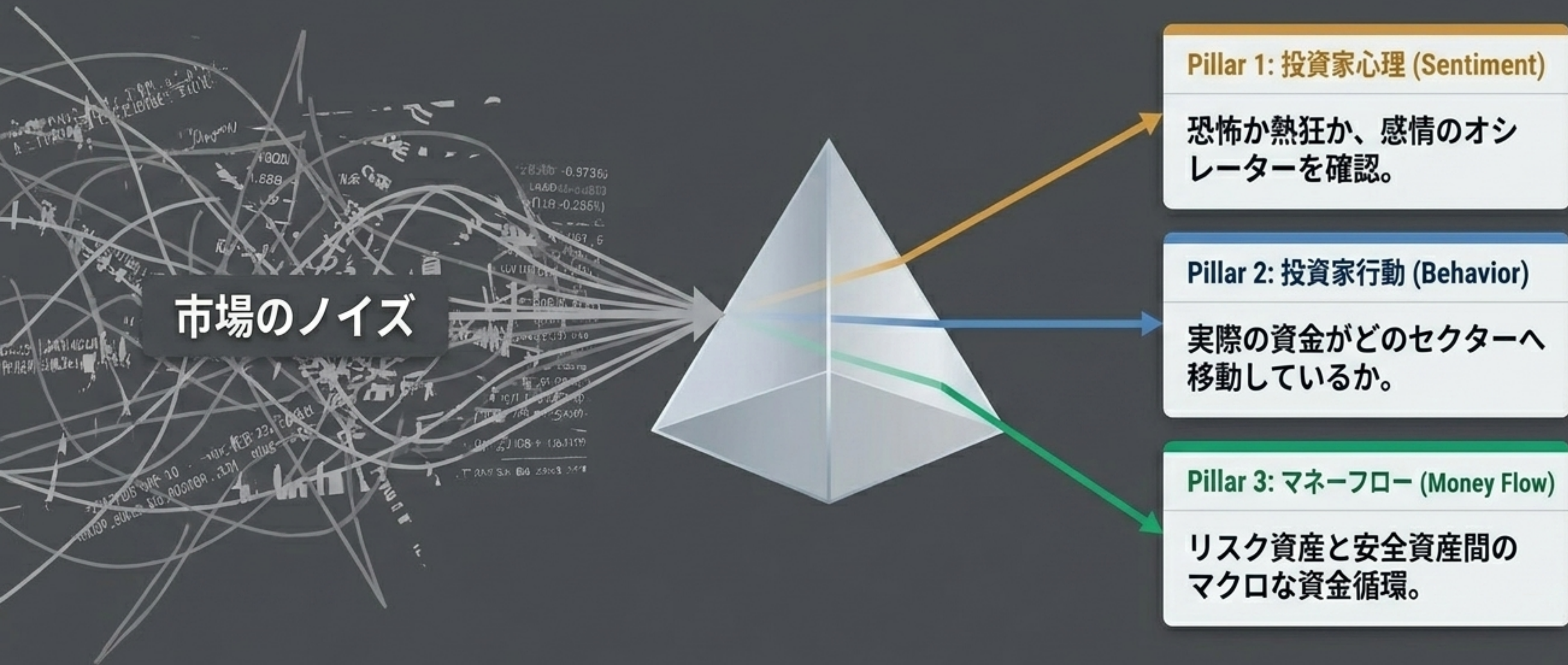
日本市場 - 半導体関連が重荷となり4日続落

日経平均株価 **60,550.59円**
(-265.36)

日経先物 **60,620円**
(-260)

指数寄与度の高い半導体関連（東エレクトク、アドテストなど）が下落を主導。

ノイズを排除し、ファクトを捉える「分析の3本柱」



投資家の不安心理が徐々に高まる局面

VIX指数



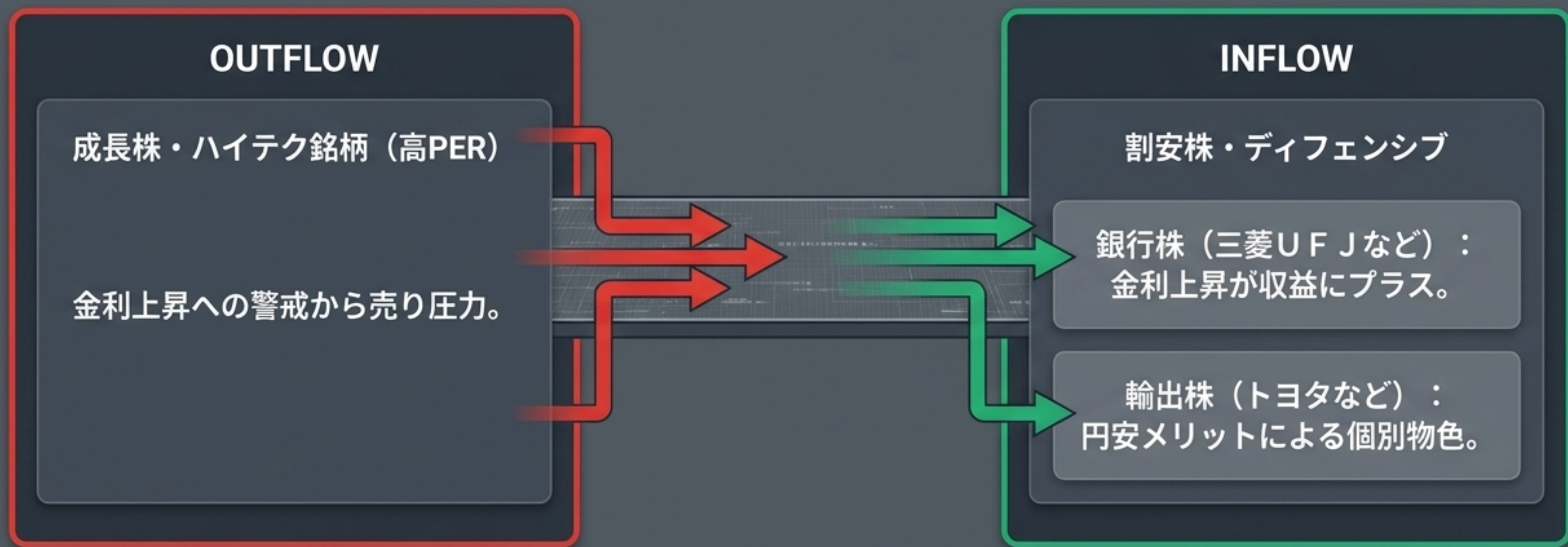
CNN Fear & Greed Index



株価が125日移動平均線を下回るなど、モメンタムの悪化が投資家の警戒感 (Skittishness) を裏付けています。

成長株から割安株への明確な「資金シフト」

Sector Rotation Bridge



安全資産への退避と、止まらないドル買い・円売り

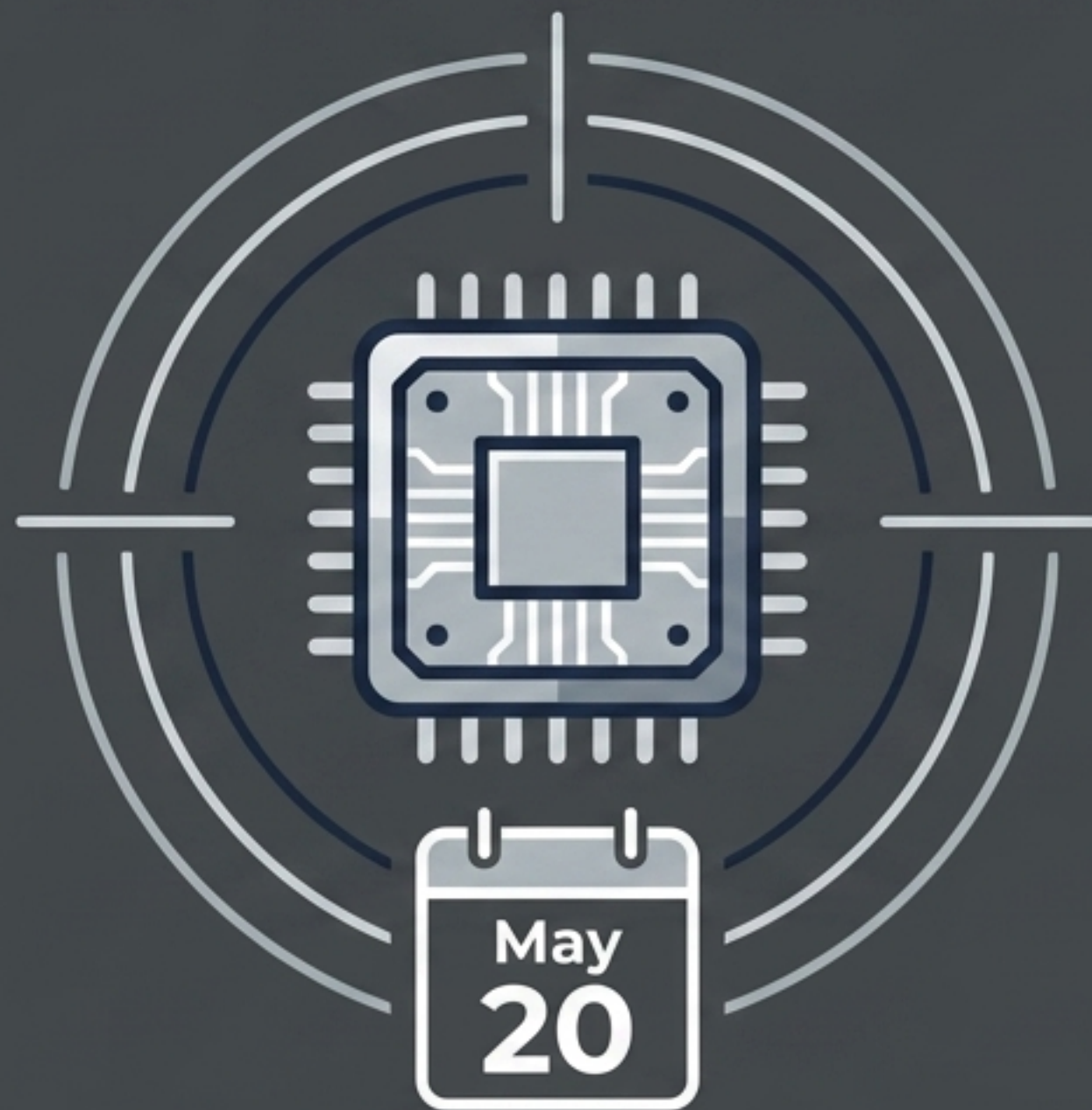
Asset Flow Balance



Diagnostic

ドル円は159.08円と底堅く推移。日米金利差の固定化を背景とした構造的なドル買い・円売りの流れが継続。

市場の運命を左右する最大の焦点



本日（5月20日）発表予定：**米エヌビディア（NVIDIA）決算**

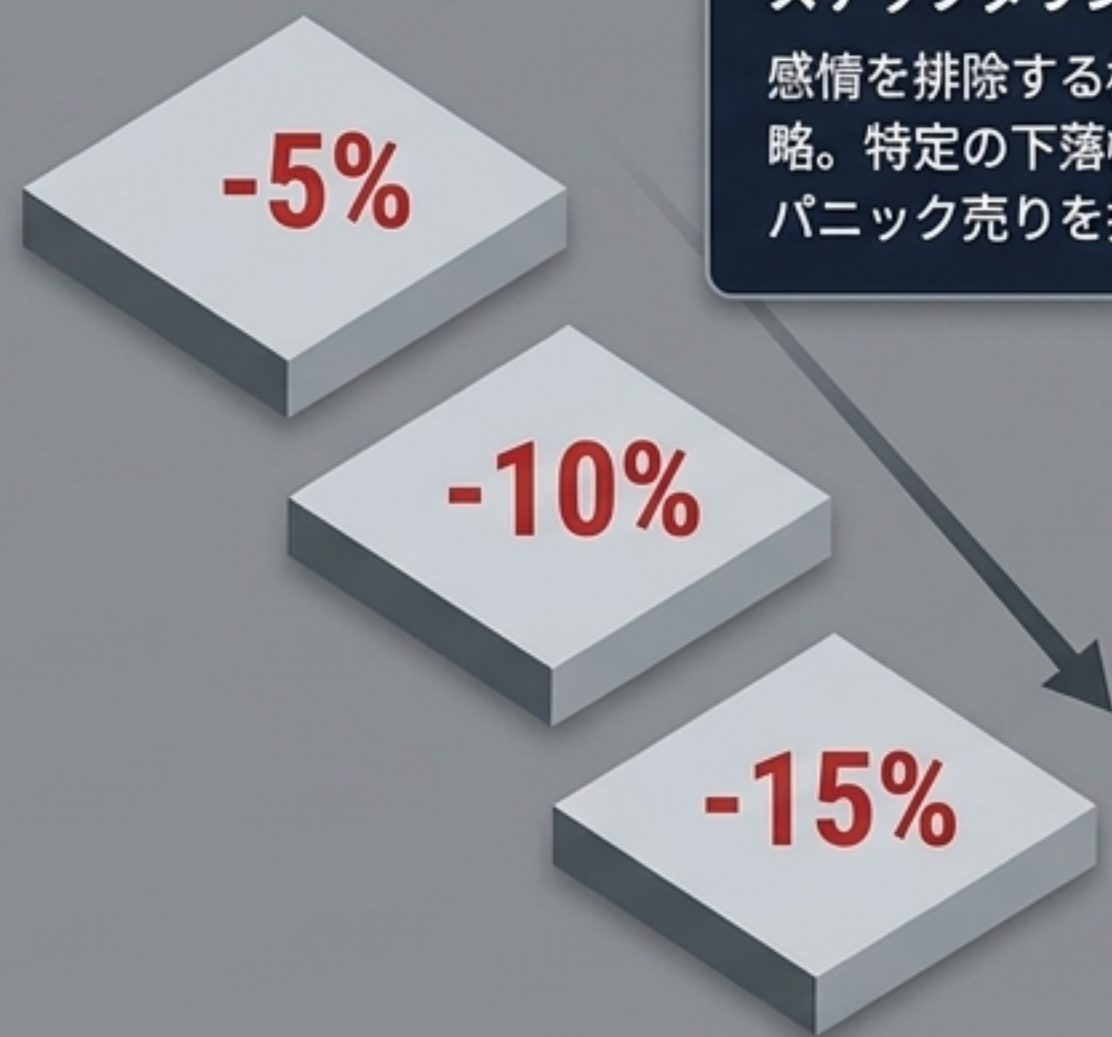
この決算が現在の「ハイテク売りの流れ」を反転させるか、それとも加速させるかの分水嶺となります。

エヌビディア決算後の3つの相場シナリオ

	強気シナリオ (Bull)	中立・調整シナリオ (Neutral)	弱気シナリオ (Bear)
トリガー	AIインフラ投資の 加速を証明	良好な決算でも 「材料出尽くし」	インフレ再燃・スタグフレ ーション懸念の波及
市場の反応	半導体セクターから 強気相場が再開	高金利を嫌気した 時間調整が続く	AIバブル崩壊を伴う 本格的な下落
現在の状況	理想的だが ハードルは高い	現状のメインシナリオ	最大のリスク要因

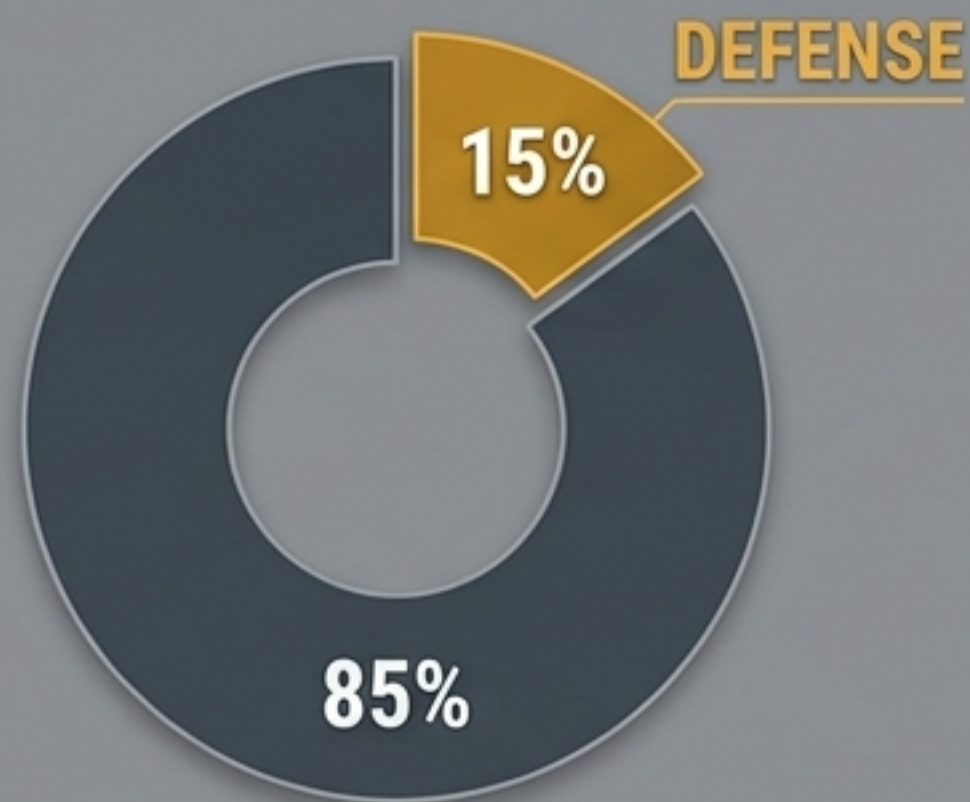
現状のファクト（高金利）に対する「守り」のポートフォリオ構築

Step-Down Entry



ステップダウン・エントリー
感情を排除する機械的な指値戦略。特定の下落幅に綱を張り、
パニック売りを拾う。

Defense Allocation



守りの配分

暴落時に安値で買う「弾薬」として、現金比率を10~20%確保。
通貨価値低下の保険としてゴールドの保有も視野に。

SUMMARY

本日のアクション・サマリー



インフレと高金利の長期化が現在の「ファクト」。



ハイテクから割安・銀行・輸出株への資金ローテーションに順張りする。



今夜のエヌビディア決算に備え、現金比率を高めて「ステップダウン・エントリー」の準備を。



毎朝の市場ファクトと論理的な投資戦略をお届けします。チャンネル登録をお願いします。

[MARKET NAVIGATOR CHANNEL]
NotebookLM